

五、十月二十三日本會後ニ於テ三番委員会報告就其後可決  
於常務委員会於テハ諮問事項第一號及第  
本委員会ニ於テハ諮問事項第一號及第

三號ニ関シ別紙ノ通答申案ヲ作成可決

セリ

右報告ス

昭和十年十月二十三日

第一特別委員会委員長 賀來佐賀太郎

熱帯産業調査會答申案

第一號 貿易ノ振興ニ関スル件

第三號 工業ノ振興ニ関スル件

E-1603

0547

第一號 貿易ノ振興ニ関スル件

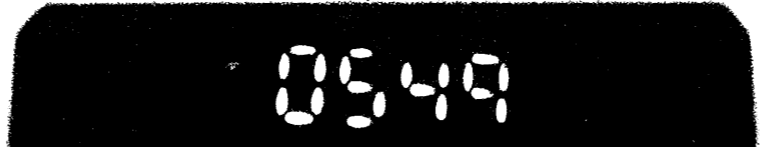
本島ハ我が國南方發展ノ礎石ニシテ南  
支南洋ニ對シ地理的、經濟的ニ極メテ重  
要ナル地位ニ在ルヲ以テ彼我貿易ノ消  
長ガ本邦産業經濟ノ進展ニ及ボス影響  
蓋シ大ナルモノアルベシ而シテ近時我

ガ國ニ於ケル各種工業ノ異常ナル進歩、  
日支關係ノ好轉、為替安等ノ好條件ニ刺  
戟セラレ多年不振ノ状態ニ在リシ本島  
ノ南支南洋貿易ハ漸ク伸暢ノ曙光ヲ認  
ムルニ至リタリト雖モ一面彼地ニ於テ  
ハ各種輸入防遏政策ノ強化ニ努メツツ

アルヲ以テ前途尚樂觀ヲ許サザルモノ  
アリ仍テ本島對南支南洋貿易ノ振興ヲ  
促進センガ爲彼地ニ於ケル生産品ノ輸  
入ニ關シテモ留意スルト共ニ左記事項  
ニ付有效適切ナル方策ヲ講ゼザルベカ  
ラズ

第一 有望ナル輸出商品ニ關スル事項

南支南洋ハ本邦商品ノ一大消費市場ト  
シテ極メテ有望ナルニ拘ラズ彼地ニ對  
スル本島生産品ノ進出ハ其ノ種類並ニ  
數量ニ於テ尚不振ノ状態ニ在リ仍テ之  
が好適品ノ生産増加品質ノ改良等ニ努



ムルト共ニ輸出補償制度ノ擴充其ノ他  
新敗路ノ開拓ニ関スル各種施設ノ完備  
ヲ圖リ以テ本島輸出貿易ノ進展ヲ期ス  
ルノ要アリ

一 砂糖

本邦糖業ノ現状ト南支那ニ於ケル砂糖

ノ生産及消費狀況トニ鑑ミ臺灣糖ノ對  
支輸出ヲ促進セシムルガ為一層生産費  
ノ低減耕地白糖ノ増産及品質ノ改良輸  
出ノ統制輸送費ノ輕減等ヲ圖ルヲ要ス  
ニ 茶  
包種茶ハ本島對南洋貿易上極メテ重要

ナル地位ヲ占ムルヲ以テ更ニ生産費ノ  
低減取引機関ノ改善輸出ノ統制等ニ付  
考究スルト共ニ將來紅茶烏龍茶等ノ増  
産ヲ圖ルヲ要ス  
ニバナナ

バナナノ對支輸出貿易ハ從來一進一退  
ノ情勢ニ在リタルモ之ガ一層ノ進展ヲ  
圖ランガ爲最近ニ於ケル日支關係ノ好  
轉ヲ契機トシ販賣統制ノ強化ニ努メ販  
路ノ擴張ヲ期スルヲ要ス

#### 四 鳳梨罐詰

本島鳳梨罐詰企業ハ曩ニ其ノ合同ヲ見

タルヲ以テ之ヲ轉機トシテ生産費ノ低減取引ノ改善ヲ圖リ以テ輸出貿易ノ増進ヲ期スルヲ要ス

### 五 豚

豚ハ對支貿易上將來有望ナル輸出品タルベキヲ以テ之ガ輸出ヲ増進セシムル

五

ガ爲養豚方法ノ改善輸出ノ統制ヲ圖ルヲ要ス

### 六 石炭

石炭ハ本島ノ南支南洋向輸出品中重要ナル地位ニ在ルヲ以テ之ガ輸出ノ圓滑ヲ圖ランガ爲品質ノ向上生産組織及取

引ノ改善等ヲ圖ルヲ要ス

七 水産物

鮮魚及水産製品ノ南支南洋ニ對スル輸

出ハ將來有望ナリト認メラルルヲ以テ

企業組織ノ改善輸出ノ統制等ヲ圖リ斯

業ノ進展ヲ期スルヲ要ス

八 食塩

本島ニハ塩田適地尠カラザルヲ以テ食

塩ノ生産増加ヲ圖リ以テ國內ノ需要ヲ

充スト夫ニ之ガ輸出ノ獎勵ニ努ムルヲ

要ス

九 其他ノ貿易品



以上列擧シタル商品ノ外南支南洋ニ對シ相當ノ輸出高ヲ示シツツアルモノ及將來有望ナリト認メラルル貿易品ニ付之ガ輸出ヲ増進セシムル爲適切ナル方策ヲ講ズルヲ要ス

第二 關稅制度ニ關スル事項

南支南洋各地ニ於テ高度ノ關稅障壁輸入制限營業制限等各種ノ輸入防遏方法ノ講セラレツツアル現狀ニ鑑ミ本島ノ南支南洋貿易ノ進展ヲ期スル爲特ニ左ノ點ニ付適切ナル方策ヲ講ズルノ要ア

一 各種通商障礙ノ除去

本島産輸出品及本邦産仲繼貿易品ニ對スル南支南洋各地ニ於ケル高率関稅特殊課稅輸入制限營業制限等ノ緩和撤廢ニ付適切ナル方策ヲ講ズルヲ要ス

二 関稅ノ減免

南支南洋ノ物産中本島ニ於ケル工業ノ原料ニ適スルモノニ對シ必要ニ應ジ関稅ノ減免制度ヲ擴張シ以テ貿易ノ進展ニ資スルヲ要ス

第三商品ノ宣傳紹介並ニ調査ニ關スル事項

本島ノ南支南洋ニ對スル輸出貿易ノ進展ヲ促サンガ爲商品ノ對外的宣傳紹介、海外市場ノ調査及情報蒐集等ヲ目的トスル施設ヲ創設スルノ要アリ

一商品ノ宣傳紹介ニ關スル施設

本島ノ南支南洋向輸出品ニ對スル宣傳紹介ニ付テハ從來施設ノ見ルベキモノナク遺憾ノ點尠カラザルヲ以テ速ニ南支南洋主要各地ニ物産紹介所又ハ貿易通信員ノ設置巡回見本市ノ開設新聞雜

誌ヲチオ、映畫ノ利用等ニ依リ之ガ實行  
ニ努ムルヲ要ス

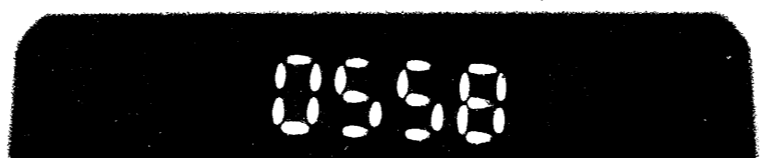
ニ調査ニ関スル施設

外國貿易ノ堅實ナル進展ヲ期スル為ニ  
ハ海外事情ノ推移ヲ知悉スルノ要アル  
ニ拘ラス現在南支南洋ニハ之ガ衝ニ當

ルベキ施設ナキヲ以テ彼我貿易上重要  
ナル産業ニ付各主要都市ニ駐在員ヲ設  
置シ以テ市況其ノ他ニ関スル調査及情  
報蒐集ヲ為サシムルヲ要ス

第四 仲繼貿易ニ関スル事項

本島ハ仲繼貿易ノ進展上極メテ好適セ  
ル地位ニ在リ而シテ其ノ消長ハ本島輸  
出貿易ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ之  
ガ發展ヲ促サンガ爲配船ノ増加、通貨ノ  
輕減等ニ付考究スルノ要アリ



第三號

工業ノ振興ニ虞スル件

由來南支南洋ハ工業原料ノ生産地タルト  
共ニ商品ノ一大消費市場ナルヲ以テ各種  
工業ニ對シ有利ナル生産條件ヲ具備セル  
本島ニ彼地ノ豊富ナル各種原料ヲ輸入シ  
併セテ島内原料ノ利用ヲ増進シ以テ本島  
ノ工業化ヲ圖リ我が國ノ需ニ充テシ更  
ニ販路ヲ南支南洋ノ市場ニ求ムルノ要アリ  
仍テ有望ナル新規工業ニ各種資源ニ  
付速ニ科學的經濟的研究ヲ遂ゲ之ガ  
勃興ノ機運ヲ醸成スルトニ既存工業ニ  
對シテハ適切ナル補助法ヲ講ジ以テ  
本島工業ノ振興ヲ圖ルベカラズ

一 石油工業

本邦液體燃料ノ補給ニ貢獻スル為將來益益本島油田ノ開發ニ努ムルト共ニ石油石油製品及天然瓦斯利用ニ依ル製品ノ南支南洋ニ對スル輸出ヲ促進スルヲ要ス

二 無水酒精工業

液體燃料ニ缺乏セル我が國ノ現狀ニ鑑ミ南支南洋ノ糖蜜ト本島産糖蜜竝ニ甘蔗其ノ他ヲ原料トスル無水酒精工業ヲ勃興セシメ以テ燃料國策ノ確立ニ資スルヲ要ス

三 肥料工業

本島ニ於テ逐年消費ノ増加ヲ來シツツアル肥料ハ其ノ多クヲ移輸入ニ俟チツツアリ然ルニ本島ニ於テハ天然瓦斯硫化鐵鑛石灰石磷鑛石石炭等各種肥料原料ノ生産



有望ナルヲ以テ不足原料ノ輸入ト相俟ツ

肥料工業ノ振興ヲ圖ルヲ要ス

### 食塩及苦汁利用工業

本島ニハ食塩及苦汁ノ生産セララルルニ拘

ラズ未ダ之ヲ利用スル工業ナキヲ以テ將

來曾達工業、金屬、マグネシウム工業等、食塩

及苦汁ヲ原料トスル化學工業ノ勃興ヲ促

進スルヲ要ス

### 五 纖維工業

本島ニ於テハ草棉、黃麻、苧麻、サイザル、萱等

ノ各種纖維植物ノ生育良好ナルノミナラ

ズバガスノ生産亦豊富ナルヲ以テ將來之

が増産ヲ獎勵スルト共ニ之等ヲ原料トス

ル各種工業ヲ一層盛ナラシメ以テ島内ノ



需要ヲ充足シ更ニ南支南洋ヘノ輸出ヲ圖ルヲ要ス

## 六 油脂工業

本島ニ於テハ蓖麻子ノ増産ヲ奨励シツツアルモ更ニ南洋産蓖麻子ノ輸入ニ依リ蓖麻子油工業ノ勃興ヲ促進スルト共ニ油桐其ノ他ノ栽培ヲ勸奨シ以テ油脂工業ノ發達ニ資スルヲ要ス

## 七 香料及藥品工業

我が國ニ於テ使用セラレル天然香料ハ其ノ大部分ヲ輸入ニ俟チツツアルヲ以テ將來本島ニ於テ之ガ原料ノ栽培ヲ奨励スルト共ニ樟腦生産ニ伴フ副生香料ノ利用ヲ圖リ更ニ南支南洋ヨリ必要ナル各種原料

ヲ輸入シ以テ香料工業ノ勃興ヲ促進スル  
ノ要アリ又本島ニキナ樹其ノ他藥用植物  
ノ栽培ヲ勸奨シ以テ藥品工業ノ振興ヲ促  
スヲ要ス

#### 八 漆工業

由來本島ハ氣候風土ノ關係上安南漆栽培  
ノ好適地ナルヲ以テ將來之ガ栽培ヲ一層  
奨勵スルト共ニ更ニ南支南洋ヨリ原料漆  
ヲ輸入シ之ガ加工精製ヲ行ヒ以テ漆工業  
ノ振興ヲ圖ルノ要アリ尚ラツクノ生産將  
勵ニ付考究スルヲ要ス

#### 九 水産加工業

南洋漁場ニ於テハマぐろ及かつをノ漁獲  
豊富ナルヲ以テ本島ニ於テ之ヲ原料トス

ル罐詰工業ヲ勃興セシムルト共ニまぐら  
漁業ノ副産物トシテ獲ラルルルふカノ加工  
ヲ行ヒ以テ之ガ輸出ヲ圖ルヲ要ス

#### 十 獸肉加工業

本島ハ優良豚ノ生産豊富ナルニ拘ラズ未  
ダ豚肉加工業ノ見ルベキモノナキヲ以テ  
將來本島ニ之ガ振興ヲ促シ以テ島内ノ需  
要ヲ充足スルト共ニ南支南洋市場ヘノ輸  
出ヲ圖ルノ要アリ尚畜牛ノ改良増殖ニ努  
メ牛肉加工業ノ勃興ヲ促スヲ要ス

#### 十一 皮革工業

本邦皮革工業ハ近時著シキ發達ヲ遂ゲタ  
リト雖モ尚多額ノ原料生皮ノ輸入ヲ見ツ  
ツアリ而シテ本島ニハ水牛黄牛等牛皮ノ

生産アルモ未ダ島内ノ需要ヲ充スニ足ラ  
ザル現状ニ在リ仍テ將來ニカ革製造工業  
ヲ振興スルト共ニ南支南洋ヨリ生牛皮ノ  
輸入ヲ促進シ之ガ加工精製ヲ行ヒ以テ本  
邦皮革工業ノ確立ニ資スルヲ要ス



特別答申案

第一特別委員會

優良品種ニ關スル件

本島ハ自然的條件ニ恵マレ其ノ農林業ノ將來ハ極メテ有望ナリト認メラルルモ各種有用植物ニ付優良品種ノ育成並ニ~~獲得~~獲得ヲ爲スハ緊要ノ事ニ屬ス仍ツテ總督府ハ之等有用植物ノ優良ナル品種ノ育成保續及~~獲得~~獲得ニ付速カニ適切ナル處置ヲ講ゼラレシコトヲ望ム

本委員會ニ於テハ諮問事項第二號及第  
四號ニ關シ別紙ノ通答申案ヲ作成可決  
セリ  
右報告ス

昭和十年十月二十三日

第二特別委員會

委員長 井坂 孝

E-1603

0567

熱帯産業調査會答申案

第二號 企業及投資ノ助成ニ關スル件  
第四號 金融ノ改善ニ關スル件

E-1603

0568

第二篇 企業及投資ノ助成ニ関スル件

南支南洋ニ對シ邦人ノ進展ヲ圖ルハ極メテ緊要ノコトニ屬ス而シテ台灣ハ其ノ地理的地位ニ鑑ミ南方發展ニ寄與スベキ重要使命ヲ有スルモノナルヲ以テ之等地方ノ企業及投資ニ對シテハ官民協力シテ一層之ガ開發助成ニ努メザルベカラズ

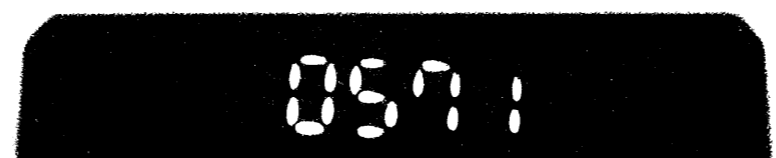


第一 有望ナル事業ニ関スル事項

南支南洋ニ於ケル企業中既ニ邦人ノ関  
係セルモノノ外農林水産鑛業工業等各  
種事業ニ亘リ邦人ノ經營又ハ投資ノ對  
象トシテ適當ト認メラルルモノ尠カラ  
ズ仍テ之等ノ事業ニ関シテハ更ニ調査  
ノ徹底ヲ期スルト共ニ之ヲ本島内外ノ  
資本家ニ紹介シ其ノ投資ヲ斡旋シ企業  
ノ成立ニ必要ナル援助ヲ與フルノ外既  
存企業ニ付テモ亦一層之カ助成ニ努ム  
ルノ要アリ

第三 中小企業ニ関スル事項

南支南洋ニ對スル邦人中小企業者就中  
中小商工業者ノ進出ハ緊要且有望ナリ  
ト認メラルルヲ以テ其ノ指導統制ニ意  
ヲ用フルト共ニ小口資金ノ融通ニ付利  
便ヲ與ヘ以テ其ノ發展ヲ圖ルノ要アリ



第三 邦人ノ移住ニ関スル事項

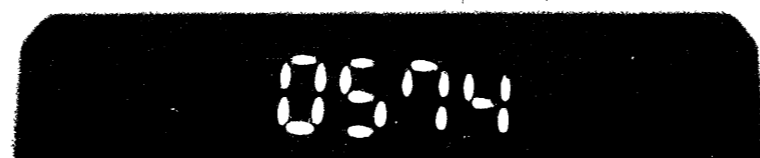
南支南洋ニハ未開發ノ地方多ク邦人移  
住者ヲ容ルルノ餘地尠カラザルノミナ  
ラズ各種企業ノ進展ニ伴ヒ邦人ヲ進出  
セシムルコト極メテ適切ナリト認メラ  
ルルヲ以テ適地適業ノ調査ヲ行ヒ邦人  
ノ進出定著上必要ナル援助ヲ與フルノ  
要アリ

第四 試驗研究及經濟調査ニ関スル  
事項

本島ハ南支南洋ニ近接シ總督府ニ中央  
研究所其ノ他各種試驗研究機關ノ外經  
濟調査機關ヲ有スルヲ以テ之等機關ヲ  
充實擴張シ將來有望ナル事業ニ関シ島  
内又ハ現地ニ於テ試驗研究ヲ行フト同  
時ニ各種熱帶産業ノ經營其ノ他ニ付周  
密ナル調査ヲ為シ以テ邦人ノ企業ニ必  
要ナル資料ヲ供給スルノ要アリ

第五 有力ナル拓殖機関ノ設置ニ  
關スル事項

台灣ニ於テ拓殖事業ノ經營及拓殖ニ關  
スル金融ヲ行フト共ニ南支南洋ニ於ケ  
ル邦人企業助成ノ為主トシテ拓殖金融  
ヲ行ヒ以テ邦人南方發展ノ中樞タルベ  
キ機關ヲ設立スルノ要アリ仍テ總督府  
ハ其ノ組織運用等ニ付充分ナル研究調  
査ヲ爲シ速ニ之ガ實現ヲ期スルヲ要ス



第四號 金融ノ改善ニ關スル件

貿易並ニ企業及投資ノ進展ハ金融ノ圓滑ニ  
後ツ所極メテ大ナルモノアルモ南支南洋ニ  
於ケル邦人ノ金融ニ付テハ尙遺憾ノ點尠カ  
ラズ仍テ左記各事項ニ付改善充實ヲ圖ラザ  
ルベカラズ

第一 商業金融ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人商業資金ノ潤澤圓滑  
ナル供給ニ資セシメンガ爲現地ニ於ケル我  
カ金融機關ノ内容ノ充實營業所ノ増設等努  
メテ之ガ整備ヲ圖ル共ニ金利ノ引下等形  
期日ノ延長等金融方法ノ改善ニ付考究スル  
ノ要アリ

第二 振殖金融ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人振殖企業ノ近年不振  
ノ状態ニ在ルハ之ニ對スル適切ナル金融機  
關ヲ缺キ資金ノ供給充分ナラザリシニ因ル  
所多キヲ以テ之ガ要求ニ應ズベキ新機關ヲ  
設立スルノ要アリ

第三 中小商工業者ノ金融ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人中小商工業者ニシテ  
銀行ヲ利用シ得サル者又ハ銀行等ノ設置ナ



キ地方に在る者に對する金融機關の  
相互扶助的金融機關の設立を促進  
スルヲ以テ之が設立を促進シテ  
付テハ其ノ改善擴充を努メシムル  
ノ要アリ

E-1603

0576

本委員會ニ於テハ諮問事項第五號及第六號ニ関シ別紙ノ通答申案ヲ作成可決セリ

右報告ス

昭和十年十月二十三日

第三特別委員會委員長 原 邦 造



熱帯産業調査會答申案

第五號 交通施設ノ改善ニ関スル件

第六號 文化施設ノ改善ニ関スル件

第五節 交通施設ノ改善ニ関スル件  
交通施設ノ整備ハ彼我ノ連絡貿易ノ進  
展企業ノ振興上缺クベカラザルモノナ  
ルヲ以テ鐵道道路航路航空路港灣通信  
機關等ニ付改善ヲ圖ラザルベカラズ

第一陸運ニ関スル事項

本島ノ地理的經濟的事情ニ鑑ミ南支南  
洋貿易ノ進展上各種交通機關ノ建設改  
良運輸ノ改善等ヲ圖ルノ要アリ

一 鐵道ノ建設改良  
縱貫鐵道其ノ他ノ複線工事ヲ完成シ尚  
經濟的國防的見地ヨリ必要ナル新線ヲ

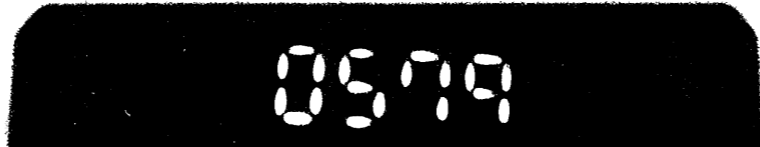
敷設スル等鐵道ノ建設改良ヲ圖ルヲ要  
ス

二 運輸ノ改善

時勢ノ進運ニ應ジ輸送諸設備ヲ改善シ  
産業ノ發展ニ重大ナル關係ヲ有スル運  
賃ノ合理化ヲ圖リ努メテ之ヲ輕減スル  
方策ヲ講ズルト共ニ國際聯絡運輸ヲ擴  
張シテ之ヲ南支南洋ニ及ボスヲ要ス

三 道路ノ新設改築

臺灣一周道路中部横断道路及山地開發  
道路ノ新設改築ヲ促進スルト共ニ臺灣  
一周道路ノ主要區間ニ於ケル路面ヲ鋪  
裝スルヲ要ス

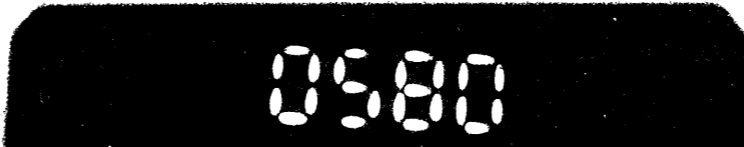


第二航路及航空路ニ関スル事項  
本島ノ地理的經濟的地位ニ鑑ミ貿易ノ  
進展及航空諸施設ノ改善擴充ヲ圖ルガ為  
要アリ

一航路ニ関スル事項  
商工業ノ發展並ニ貿易ノ振興ニ資スル  
為南支南洋航路ノ整備ヲ圖リ内臺航路  
ノ充實ニ努メ更ニ本島ヲ國際交通路ノ  
幹線ニ進出セシムルト共ニ本島ノ重要  
物産及有望ナル仲繼貿易品ノ運賃ノ合  
理化ヲ圖ルヲ要ス

二航空路ニ関スル事項  
本島ハ我國南方ノ要衝ニ位シ南支南洋  
ニ對シ經濟上密接ナル關係ニ在ルヲ  
以テ島内各種航空施設ノ整備島内及内  
臺定期航空輸送事業ノ充實並ニ國際航  
空路ノ開設ニ努ムルヲ要ス

第三港灣ニ関スル事項  
港灣ノ整備ハ鉄道航路等ノ施設ト相俟  
ツテ産業貿易ノ進展上缺クベカラザル  
要件ナルヲ以テ之ガ改善充實ヲ圖ルト  
共ニ其ノ運用ニ付適切ナル方策ヲ講ズ  
ルノ要アリ



一 臺灣ノ改善  
 本島ノ地理的地位ニ鑑ミ基隆、高雄、兩港ノ設備ヲ改善シ以テ本島ノ國際幹線航路ヘノ進出及南支南洋貿易ノ發展ニ資スルヲ要ス

二 南支南洋諸開港ニ於ケル海陸連絡ノ改善

南支南洋各港ニ於ケル我が關係會社ノ海陸連絡設備ハ極メテ不充分ナル實情ニ在ルヲ以テ棧橋、倉庫等適當ナル施設ヲ為シ貿易ノ進展ニ資セシムルヲ要ス

第四 通信ニ關スル事項

本島及南支南洋間ノ特殊關係ニ鑑ミ郵便、電信、電話ニ付施設ノ改善ヲ促進シ料金ノ低減及取扱ノ簡易化ヲ圖リ以テ産業並ニ文化ノ進展ニ寄與スルノ要アリ

一 郵便

本島及香港、澳門、南洋各地間ニ可及的速ニ特惠的約定ノ締結ヲ促進シ以テ料金ノ低減並ニ取扱ノ簡易化ヲ圖ルヲ要ス

二 電信

本島及南支南洋間ノ通信ハ連絡上遺憾ノ點點カヲサシ以テ關係各地ニ對シ無線回路ヲ開設スルニ對シ



通信ノ改善ヲ圖ルヲ要ス  
三 電話  
將來本島、南支南洋間ノ通信量増加ニ伴  
ヒ漸次之ガ施設計畫ヲ考慮スルヲ要ス

第六條 文化施設ノ改善ニ関スル件  
 南支南洋ニ對スル各種文化施設ハ相互  
 ノ理解ヲ深メ彼我ノ親善ヲ増進シ經濟  
 的提携ヲ容易ナラシムルコト大ナルモ  
 ノアルニ鑑ミ將來益々之ガ改善擴充ヲ  
 圖ラザルベカラズ

第一報 道宣傳機關ニ關スル事項  
 報 道 宣 傳 機 關 ノ 整 備 ハ 本 邦 ノ 事 情 ヲ 海  
 外ニ紹介シ相互文化ノ向上延テハ彼我  
 親善ニ資スル所甚カラズ仍テ新聞ラダ  
 才等ニ付次ノ如キ改善擴充ヲ圖ルノ要  
 アリ

一新聞

敗團法人善鄰協會ノ經營ニ屬スル福州  
 閩報及厦門全閩新日報ノ改善ヲ圖リ廣  
 東汕頭香港等ノ南支各地ニ於テ新聞ヲ  
 創刊シムルト共ニ南洋各地ニ於ケル  
 各種報道機關ノ助成ヲ爲シ以テ彼我理  
 解ノ増進ニ資スルヲ要ス  
 ニラダオ  
 南支南洋向大電力放送設備ヲ完成シ在  
 留邦人ニ對スル報道慰安及教養ノ機關  
 トシテ遺憾ナカラシメ以テ其ノ活躍ニ  
 資セシムルト共ニ更ニ交驩放送及外國  
 語放送ヲ實施シテ彼我ノ親善ニ益シ對



外報道並ニ宣傳ニ付萬全ヲ期スルヲ要ス

第二教育施設ニ関スル事項

本島ニ於ケル實業教育機關ノ改善充實  
ヲ圖ルト共ニ南支南洋ニ於ケル我が教  
育施設ノ整備擴充ヲ促進シ以テ邦人ノ  
南方發展上遺憾ナキヲ期スルノ要アリ  
一島内實業教育機關ノ内容改善  
島内各實業教育機關ノ教育方針組織學  
科課程ヲ改善シ將來南支南洋ニ於テ活  
躍セントスル者ノ養成上遺憾ナキヲ期  
スルヲ要ス

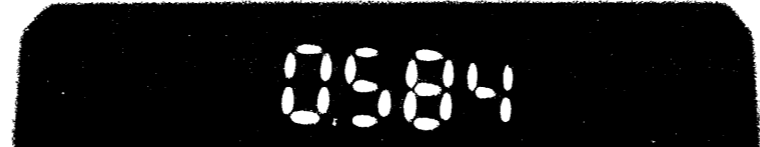
ニ在留邦人子弟ニ對スル教育施設ノ改  
善

南支南洋ニ於ケル邦人經營ノ教育施設  
ノ整備擴充ヲ圖ルト共ニ邦人子弟ノ本  
島遊學ヲ勸奨シ以テ我が南支南洋發展  
ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルヲ要ス

第三醫療施設ニ関スル事項

彼我ノ理解ヲ増進シ邦人ノ定住ニ資セ  
シムルガ為病院ノ擴張増設ヲ圖ルト共  
ニ医師療屬ノ養成並ニ熱帯病ノ調査研  
究ニ関シ次ノ如キ施設ヲ為スノ要アリ

E-1603



一病院ノ擴張増設及援助  
 南支ノ各博愛會醫院及英領北ボルネオ  
 ノタワオ病院ヲ擴張充實セシムルト共  
 二南支南洋ニ於ケル邦人ノ集團地及將  
 來ノ發展地ヲ選ビ病院ヲ開設セシメ又  
 ハ既設病院ヲ援助スルヲ要ス  
 一醫師産婆看護婦等ノ養成及援助  
 醫師産婆看護婦等ノ養成機關ヲ病院ニ  
 附屬セシメ之ガ養成上遺憾ナキヲ期セ  
 シムルト共ニ各地邦人醫師ニ對スル援  
 助指導ニ付考慮スルヲ要ス  
 三熱帯病ニ關スル調査研究  
 南支南洋ニ對スル邦人ノ移住發展ヲ容

易ナラシムル為熱帯地ニ於ケル邦人ノ  
 氣候適應性、勞業能率、生活法マラリア其  
 ノ他諸疾病ノ豫防治療等ニ付調査研究  
 ヲ為スヲ要ス

第四 觀光施設其ノ他ニ關スル事項  
 本島ニ於ケル觀光施設ノ改善充實ヲ圖  
 リ南支南洋ニ於ケル觀光機關ト相提携  
 シ聯絡運輸ノ開設ニ依リ相互ニ觀光客  
 ヲ交換スルト共ニ彼我協調シテ改米觀  
 光客ノ誘致ニ努メ以テ國際親善ニ資ス  
 ルノ要アリ  
 尚學藝ノ交換熱帯學術ノ研究運動競技





會ノ開催等ハ相互ノ親善ヲ増進シ文化  
 ノ向上ヲ期スル上ニ於テ有効適切ナル  
 方途タルベシ  
 一 観光組織ノ整備統制  
 觀光組織ヲ整備シ相互ノ連絡統一ヲ圖  
 リ全臺灣ノ觀光事業ヲ一体ト爲シ有機  
 的ニ活動セシメ以テ外客ノ誘致ニ努ム  
 ルヲ要ス  
 二 観光宣傳ノ徹底  
 本島ノ風光習俗産業等ノ海外宣傳ヲ徹  
 底セシメ殊ニ南支南洋方面ノ新聞雜誌  
 ヲ利用シ又ハ案内所ヲ設置スル等ノ手  
 段ニ依リ外客ノ誘致ヲ圖ルヲ要ス  
 三 観光設備ノ充實  
 本島ノ名勝地ニ觀光ホテルヲ設置シ自  
 動車道其ノ他ノ交通施設衛生保健娛樂  
 設備等ヲ改善充實シ以テ外客ノ誘致ニ  
 資スルヲ要ス  
 四 接遇ノ洗練向上  
 外人觀光客ニ對スル關係官署ノ取扱ヲ  
 可及的ニ統一簡易化スルト共ニ案内業  
 者觀光土産品ノ販賣等ニ関スル取締ヲ  
 嚴シシ接遇ノ洗練向上ニ努ムルヲ要ス  
 五 國立公園ノ設置  
 本島ハ大風景地ニ乏シカラザルヲ以テ  
 國立公園ヲ設置シ自然ノ保護開發



ス = 努メ以テ海外觀光客ヲ誘致スルヲ要ス

大學藝ノ交換及熱帶學術ノ研究

本島及南支南洋間ニ於テ各大學專内學

校又ハ研究機關ヲシテ相互ニ交換教授

學術研究資料ノ交換等ヲ行ハシメ彼地

學生ノ本島遊學ヲ勸奨スルト共ニ熱帶

學術研究施設ヲ整備シ以テ相互ノ文化

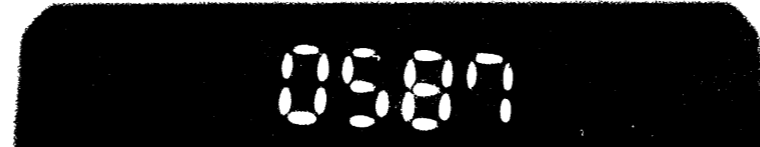
的聯繫ヲシテ一層緊密ナラシムルヲ要ス

七 交驩運動競技會ノ開催

國際運動競技特ニ學生生徒ヲ中心トス

ル交驩競技會ノ開催ニ依リ相互ノ理解

ヲ進メ親善ヲ圖ルヲ要ス

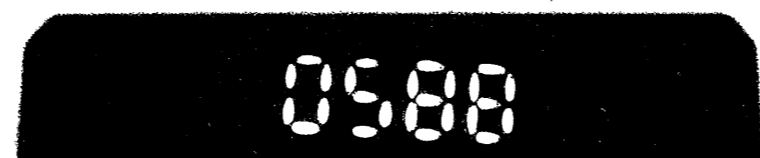


六



臺灣拓殖株式會社設立要綱

E-1603



臺灣拓殖株式會社設立要綱

一 設立

本會社ハ法律ヲ以テ之ヲ設立ス

二 目的

本會社ハ拓殖事業ノ經營其他拓殖資金供給ヲ為スヲ以テ目的トス

三 組織

本會社ハ株式會社トス

四 資本金

本會社ノ資本金總額ハ金三千萬圓トシ之ヲ六十萬株ニ分チ一株ノ金額ヲ金五十圓トス  
本會社ノ資本金ハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ増加スルコトヲ得ルモノトス

五 出資者

本會社ノ出資者ハ政府及民間トシ資本金總額ノ約半額ハ政府ニ於テ出資シ臺灣ニ於ケル官租地、官有未墾原野、山林等ノ土地中價格約千五百萬圓ニ相當スルモノヲ以テ之ニ充ツルモノナリ

六 役員

本會社ニ社長一人、副社長一人、理事三人以上、監事二人以上ヲ置ク  
社長及副社長ハ臺灣總督之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トシ理事ハ百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ選舉シ之ニ倍ノ候補者中ヨリ臺灣總督之ヲ命ジ其ノ任期ヲ四年トス  
監事ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會

ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス  
七事業

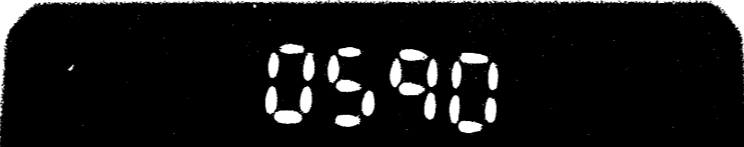
- (一) 拓殖ノ為必要ナル農業特ニ特殊農作物ノ栽培事業、水利事業及之等事業ノ助成
- (二) 拓殖ノ為必要ナル土地(土地ニ関スル權利ヲ含ム)ノ取得、經營及處分
- (三) 委託ニ依ル土地ノ經營及管理
- (四) 移民事業
- (五) 農業者又ハ移民ニ對シ拓殖上必要ナル物品ノ供給又ハ之カ生産品ノ買取若ハ販賣
- (六) 拓殖ノ為必要ナル資金ノ供給
- (七) 前各號ノ外拓殖ノ為必要ナル事業ノ經營
- (八) 前各號ノ事業ニ附帶スル事業

(九) 其他臺灣總督ノ認可ヲ得ル事業  
八 會社ノ特權

- (一) 本會社ノ資本増加ニハ株金全額ノ拂込ヲ要セズ
- (二) 本會社ハ商法第百九十九條ノ規定ニ不拘拂込資本全額ノ十倍ヲ限リ臺灣拓殖債券ヲ發行スルヲ得

九 會社ノ利益配當

- (一) 本會社ハ毎營業年度ニ於テ配當ニ得ベキ利益ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式拂込資本金額ニ對シ年八分ノ割合ニ達ス迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ為スコトヲ要セザルモノトス



(二) 本會社ノ毎營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込資本金額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テハ其ノ超過額ハ總株式ニ對シ利益配當ガ拂込資本金額ニ對シ均一ノ割合ニ達ス迄政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込資本金額及政府ノ所有スル株式ノ拂込資本金額ニ對シ一ト二トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スルモトス

十 補助ノ、  
本會社ニ於テ行フ干拓及移民ニ關スル事業ニ本會社ガ本島外ニ於テ行フ拓殖事業ニ對シテ政府ヨリ相當ノ補助金ヲ交付セラルル見込ナリ

十一 監督

本會社ノ業務ハ臺灣總督之ヲ監督ス

